

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成28年6月2日 (2016.6.2)

【公表番号】特表2015-514681(P2015-514681A)

【公表日】平成27年5月21日 (2015.5.21)

【年通号数】公開・登録公報2015-034

【出願番号】特願2014-551482(P2014-551482)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/352 (2006.01)

A 6 1 P 1/12 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/352

A 6 1 P 1/12

A 6 1 P 43/00 1 1 2

【手続補正書】

【提出日】平成28年3月30日 (2016.3.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

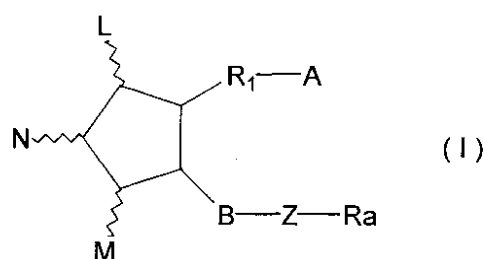
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

哺乳類対象における、下痢を伴う過敏性腸症候群を処置するための医薬組成物であって、式 (I)：

【化 1】



[式中、

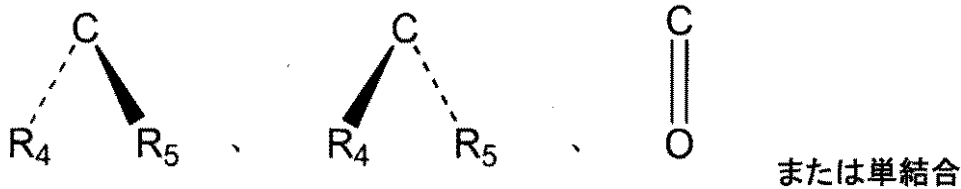
L、MおよびNは、水素、ヒドロキシ、ハロゲン、低級アルキル、ヒドロキシ(低級)アルキル、低級アルカノイルオキシまたはオキソであり、ここでLおよびMの少なくとも1つは水素以外の基であり、該5員環は少なくとも1つの二重結合を有していてもよく；

Aは、 $-\text{CH}_3$ または $-\text{CH}_2\text{OH}$ 、 $-\text{COCH}_2\text{OH}$ 、 $-\text{COOH}$ またはそれらの官能性誘導体であり；

Bは、単結合、 $-\text{CH}_2-\text{CH}_2-$ 、 $-\text{CH}=\text{CH}-$ 、 $-\text{C}-\text{C}-$ 、 $-\text{CH}_2-\text{CH}_2-\text{CH}_2-$ 、 $-\text{CH}=\text{CH}-\text{CH}_2-$ 、 $-\text{CH}_2-\text{CH}=\text{CH}-$ 、 $-\text{C}-\text{C}-\text{CH}_2-$ または $-\text{CH}_2-\text{C}-\text{C}-$ であり；

Zは、

【化 2】



であり、ここで、

R_4 および R_5 は、水素、ヒドロキシ、ハロゲン、低級アルキル、低級アルコキシまたはヒドロキシ(低級)アルキルであり、 R_4 および R_5 が同時にヒドロキシおよび低級アルコキシであることはなく；

R_1 は、非置換、またはハロゲン、低級アルキル、ヒドロキシ、オキソ、アリールまたは複素環基により置換された、二価の飽和または不飽和の低級または中級の脂肪族炭化水素残基であり、該脂肪族炭化水素中の少なくとも1つの炭素原子は酸素、窒素または硫黄により置換されていてよく；そして

R_a は、非置換、またはハロゲン、オキソ、ヒドロキシ、低級アルキル、低級アルコキシ、低級アルカノイルオキシ、シクロ(低級)アルキル、シクロ(低級)アルキルオキシ、アリール、アリールオキシ、複素環基または複素環オキシ基によって置換された、飽和または不飽和の低級または中級の脂肪族炭化水素残基；低級アルコキシ；低級アルカノイルオキシ；シクロ(低級)アルキル；シクロ(低級)アルキルオキシ；アリール；アリールオキシ；複素環基；複素環オキシ基であり、該脂肪族炭化水素の炭素原子の少なくとも1つは酸素、窒素または硫黄により置換されていてよい。]

によって表される脂肪酸誘導体を有効量含む、医薬組成物。

【請求項 2】

ZがC=Oである、請求項 1 記載の医薬組成物。

【請求項 3】

Bが $-\text{CH}_2-\text{CH}_2-$ である、請求項 1 または 2 に記載の医薬組成物。

【請求項 4】

Lがヒドロキシまたはオキソであり、Mが水素またはヒドロキシであり、Nが水素であり、Bが $-\text{CH}_2-\text{CH}_2-$ であり、ZがC=Oである、請求項 1 記載の医薬組成物。

【請求項 5】

該脂肪酸誘導体が、

(-)-7-[(2R,4aR,5R,7aR)-2-(1,1-ジフルオロペンチル)-2-ヒドロキシ-6-オキソオクタヒドロシクロペンタ[b]ピラン-5-イル]ヘプタン酸または(-)-7-{(2R,4aR,5R,7aR)-2-[(3S)-1,1-ジフルオロ-3-メチルペンチル]-2-ヒドロキシ-6-オキソオクタヒドロシクロペンタ[b]ピラン-5-イル}ヘプタン酸、その互変異性体またはその官能性誘導体である、請求項 1 記載の医薬組成物。

【請求項 6】

下痢を伴う過敏性腸症候群が、下痢優位型の過敏性腸症候群である、請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の医薬組成物。

【請求項 7】

下痢を伴う過敏性腸症候群が、交代型または混合型の過敏性腸症候群である、請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の医薬組成物。